



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ASIAN STAR

コード番号 8946 URL <http://www.asian.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小坂 竜義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 田中 忍

TEL 045-324-2444

四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年12月期第1四半期 | 277 | △50.8 | 22 | △63.2 | 6 | △86.7 | 2 | △93.7 |
| 26年12月期第1四半期 | 563 | 115.7 | 60 | 74.8 | 50 | 101.6 | 46 | 105.9 |

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 4百万円 (△90.3%) 26年12月期第1四半期 46百万円 (105.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年12月期第1四半期 | 0.22 | 0.22 |
| 26年12月期第1四半期 | 3.95 | 3.95 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|---|-------|------|--------|----------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | | |
| 27年12月期第1四半期 | 2,746 | | 1,611 | 58.5 | | 100.86 |
| 26年12月期 | 2,017 | | 946 | 46.7 | | 72.12 |

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 1,606百万円 26年12月期 941百万円

2. 配当の状況

| | 第1四半期末 | 年間配当金 | | | 合計 |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年12月期 | — | | | | |
| 27年12月期(予想) | | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | |
| 第2四半期(累計) | 659 | △37.5 | 18 | △79.7 | 13 | △82.0 | 12 | △74.1 | 0.92 |
| 通期 | 1,444 | △33.2 | 67 | △55.6 | 59 | △66.2 | 47 | △65.4 | 3.60 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-----------|--------------|---------|--------------|
| 27年12月期1Q | 16,008,200 株 | 26年12月期 | 13,138,200 株 |
|-----------|--------------|---------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 27年12月期1Q | 83,200 株 | 26年12月期 | 83,200 株 |
|-----------|----------|---------|----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|-----------|--------------|-----------|--------------|
| 27年12月期1Q | 13,214,444 株 | 26年12月期1Q | 11,835,000 株 |
|-----------|--------------|-----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年3月31日）における我が国経済は、企業・家計の双方で所得から支出への前向きな循環メカニズムが作用しており、緩やかな回復基調を継続しておりますが、新興国・資源国経済の動向、欧州債務問題の展開や低インフレ長期化のリスクなど、今後の海外経済の動向により、日本経済の先行きが左右されるリスクは残されているものと思われま

す。当社グループが属する不動産業界におきましては、首都圏マンション供給戸数は前年同期と比べ若干減少しているものの、供給件数に対する新規契約戸数は前年と同水準で維持しており、不動産市況は底堅く推移しているものと思われま

す。このような事業環境のもと、当社グループは賃貸マンションの家賃管理業務を中心とした不動産管理事業を事業領域の中心に据え、それに関連する不動産仲介事業、不動産賃貸事業のさらなる収益向上を目指してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は277百万円（前年同四半期比50.8%減）、営業利益22百万円（前年同四半期比63.2%減）、経常利益6百万円（前年同四半期比86.7%減）、四半期純利益2百万円（前年同四半期比93.7%減）となりました。なお、当第1四半期連結会計期間において当社の100%出資において設立した合同会社TYインベスターズの業績を新たに連結の範囲に含めております。

(不動産販売事業)

当第1四半期連結累計期間において竣工・販売した物件がないため、該当する売上はなく（前年同四半期は295百万円）、経費の計上のみで1百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益32百万円）となりました。

(不動産管理事業)

中国におけるサービスアパートメント管理事業の収入が加わったことで、売上高は132百万円（前年同四半期比15.2%増）となったものの、原価が増加し、営業利益は56百万円（前年同四半期比5.4%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当社所有不動産の賃貸稼働率の維持に努め、売上高は90百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益は16百万円（前年同四半期比20.7%増）となりました。

(不動産仲介事業)

積極的な営業活動を行い、売上高は54百万円（前年同四半期比23.1%増）、営業利益は14百万円（前年同四半期比99.6%増）となりました。

(不動産ファンド事業)

当第1四半期連結累計期間において運営・管理を行ったファンド物件はないため、該当する売上はなく（前年同四半期は売上12百万円）、営業損益は生じませんでした（前年同四半期は営業利益7百万円）。

(その他の事業)

当第1四半期連結累計期間において該当する売上はなく（前年同四半期は1百万円）、経費の計上のみで0百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ729百万円増加し、2,746百万円となりました。これは主に現金及び預金が260百万円増加し、販売用不動産が447百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ64百万円増加し、1,135百万円となりました。これは主に有利子負債が44百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ664百万円増加し、1,611百万円となりました。これは主に新株発行により資本金、資本準備金が各々330百万円増加し、四半期純利益が2百万円計上されたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の業績予想につきましては、平成27年2月16日に公表いたしました「平成26年12月期決算短信」における業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、業況の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、当社グループは、日本全国における約155万㎡の土地を取得できる機会を獲得し、その活用について様々な観点から検討を重ねた結果、当該事業用地を土地の特性や収益性に応じて分類し開発・賃貸等を行うことで多様な収益の獲得が可能となり、今後の当社の事業拡大に大きく貢献出来るものと判断し、新規事業として「リゾート開発事業」（セグメントとしては現時点で不動産販売事業に分類）を行うことといたしました。

なお、リゾート開発事業につきましては、平成27年2月に当社が100%出資を行う合同会社TYインベスターズを新たに設立し、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。また、一般社団法人GFトラストワン及び合同会社GFインベスターズワンは平成27年1月に解散したため、連結の範囲から除外いたしました。

平成27年3月31日現在において、当社グループは、当社及び連結子会社5社により構成されております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日) |
|-------------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 827,025 | 1,087,029 |
| 受取手形及び売掛金 | 58,088 | 68,973 |
| 商品及び製品 | 6,528 | 6,214 |
| 販売用不動産 | 22,625 | 470,599 |
| 仕掛販売用不動産 | 13,227 | — |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,361 | 2,597 |
| その他 | 46,438 | 56,864 |
| 貸倒引当金 | △25,437 | △26,413 |
| 流動資産合計 | 950,857 | 1,665,863 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 38,935 | 38,935 |
| 減価償却累計額 | △21,542 | △22,172 |
| 建物及び構築物 (純額) | 17,393 | 16,763 |
| 車両運搬具 | 6,208 | 6,235 |
| 減価償却累計額 | △4,970 | △5,201 |
| 車両運搬具 (純額) | 1,237 | 1,033 |
| 工具、器具及び備品 | 50,985 | 50,985 |
| 減価償却累計額 | △46,721 | △47,121 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 4,263 | 3,864 |
| 土地 | 12,451 | 34,427 |
| リース資産 | 14,012 | 2,899 |
| 減価償却累計額 | △11,355 | △386 |
| リース資産 (純額) | 2,657 | 2,512 |
| 有形固定資産合計 | 38,003 | 58,600 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 166,059 | 162,514 |
| その他 | 112 | 46 |
| 無形固定資産合計 | 166,171 | 162,561 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 291 | 330 |
| 長期貸付金 | 4,785 | 4,785 |
| 繰延税金資産 | 4,585 | 3,966 |
| 投資不動産 | 1,008,419 | 1,010,753 |
| 減価償却累計額 | △202,254 | △205,973 |
| 投資不動産 (純額) | 806,165 | 804,779 |
| その他 | 51,541 | 50,985 |
| 貸倒引当金 | △5,266 | △5,266 |
| 投資その他の資産合計 | 862,103 | 859,581 |
| 固定資産合計 | 1,066,278 | 1,080,744 |
| 資産合計 | 2,017,136 | 2,746,607 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 14,191 | 25,428 |
| 短期借入金 | 29,000 | 28,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 43,500 | 63,516 |
| 前受金 | 145,976 | 151,413 |
| 未払法人税等 | 7,568 | 7,875 |
| 賞与引当金 | 3,914 | 1,363 |
| 繰延税金負債 | 482 | — |
| 預り金 | 298,266 | 318,275 |
| その他 | 70,520 | 58,269 |
| 流動負債合計 | 613,419 | 654,141 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 124,550 | 150,034 |
| 退職給付に係る負債 | 20,466 | 19,166 |
| 長期預り保証金 | 301,606 | 308,914 |
| その他 | 10,563 | 3,213 |
| 固定負債合計 | 457,186 | 481,328 |
| 負債合計 | 1,070,606 | 1,135,470 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,442,068 | 1,772,118 |
| 資本剰余金 | 1,417,508 | 1,747,558 |
| 利益剰余金 | △1,851,617 | △1,848,676 |
| 自己株式 | △99,912 | △99,912 |
| 株主資本合計 | 908,047 | 1,571,088 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21 | 60 |
| 為替換算調整勘定 | 33,451 | 34,978 |
| その他の包括利益累計額合計 | 33,472 | 35,039 |
| 新株予約権 | 5,010 | 5,010 |
| 純資産合計 | 946,530 | 1,611,137 |
| 負債純資産合計 | 2,017,136 | 2,746,607 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 563,126 | 277,193 |
| 売上原価 | 431,370 | 165,653 |
| 売上総利益 | 131,755 | 111,540 |
| 販売費及び一般管理費 | 70,997 | 89,180 |
| 営業利益 | 60,758 | 22,359 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14 | 2,542 |
| 設備賃貸料 | 225 | — |
| 為替差益 | — | 868 |
| その他 | 713 | 581 |
| 営業外収益合計 | 953 | 3,991 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,790 | 4,229 |
| 新株発行費 | — | 2,382 |
| 支払手数料 | 1,596 | 12,502 |
| 為替差損 | 2,509 | — |
| その他 | 323 | 511 |
| 営業外費用合計 | 11,220 | 19,625 |
| 経常利益 | 50,490 | 6,725 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 50,490 | 6,725 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,718 | 5,537 |
| 法人税等調整額 | 35 | △1,752 |
| 法人税等合計 | 3,754 | 3,785 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 46,736 | 2,940 |
| 少数株主利益 | — | — |
| 四半期純利益 | 46,736 | 2,940 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 46,736 | 2,940 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △48 | 39 |
| 為替換算調整勘定 | — | 1,527 |
| その他の包括利益合計 | △48 | 1,566 |
| 四半期包括利益 | 46,688 | 4,507 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 46,688 | 4,507 |
| 少数株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年3月27日付で、徳威国際発展有限公司及び香港富心国際有限公司より第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が330百万円、資本準備金が330百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,772百万円、資本準備金が1,747百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 不動産販 売事業 | 不動産管 理事業 | 不動産賃 貸事業 | 不動産仲 介事業 | 不動産 ファンド 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 295,809 | 114,900 | 94,789 | 44,426 | 12,000 | 561,926 | 1,200 | 563,126 | — | 563,126 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 2,400 | — | — | — | 2,400 | — | 2,400 | △2,400 | — |
| 計 | 295,809 | 117,300 | 94,789 | 44,426 | 12,000 | 564,326 | 1,200 | 565,526 | △2,400 | 563,126 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 32,959 | 59,212 | 13,669 | 7,045 | 7,138 | 120,025 | 688 | 120,714 | △59,955 | 60,758 |

(注) 1. 「その他」の区分には、貸金業、設計監理事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△59,955千円は、セグメント間取引消去△2,400千円、各セグメントに配分していない全社費用△57,555千円であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、柏雅資本集団控股有限公司 (Belgravia Capital Group Holdings Limited) (香港) の株式を取得し、それに伴い柏雅酒店管理(上海)有限公司、上海柏雅投资管理有限公司を新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は「不動産管理事業」において479,572千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「不動産管理事業」セグメントにおいて、柏雅資本集団控股有限公司 (Belgravia Capital Group Holdings Limited) (香港) の株式を取得したことに伴い、新たにのれんが発生し、当第1四半期連結累計期間において、のれんが200,405千円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 不動産販 売事業 | 不動産管 理事業 | 不動産賃 貸事業 | 不動産仲 介事業 | 不動産 ファンド 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | — | 132,408 | 90,116 | 54,669 | — | 277,193 | — | 277,193 | — | 277,193 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | 119 | — | — | 119 | — | 119 | △119 | — |
| 計 | — | 132,408 | 90,235 | 54,669 | — | 277,313 | — | 277,313 | △119 | 277,193 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △1,105 | 56,019 | 16,497 | 14,064 | — | 85,475 | △4 | 85,470 | △63,110 | 22,359 |

(注) 1. 「その他」の区分には、貸金業、設計監理事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△63,110千円は、セグメント間取引消去△119千円、各セグメントに配分していない全社費用△62,990千円であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、合同会社TYインベスターズを設立し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は「不動産販売事業」において480,569千円増加しております。